

現代心理学編 第3部 基礎学習シリーズ

全4巻

監修 ● 筑波大学教授 大内茂男
■ 時間: 各巻 約30分

・お問合せ・お申込みは

(映) 有限会社 博映商事
TEL 092-741-0306 FAX 092-741-6628
〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1-3-31-220
【HP】 <http://hakuei-shoji.jp> 【E-Mail】 info@hakuei-shoji.jp

1 動物学習の実際

〈指導〉 筑波大学 牧野順四郎

● カラー

過去の経験を通して自分の行動を変容させることを学習というが、私たちは、誕生からまさに学習によって生きてきたし、恐らく一生そうしていくであろう。この事情は動物においても全く同じで、動物が変転する多様な環境を生き抜いているのも、多かれ少なかれ学習のおかげであるといっても過言ではない。この作品ではラットとマウスを用いて、学習の基本的な型を幾つか紹介していくが、同時に、彼等が現実を示す高い学習能力も見てほしいと思う。

〈監修〉

筑波大学教授 藤田 統

2 情動とモチベーション

〈指導〉 同志社大学 浜 治世

● カラー

人間は常に欲望と感情に動かされている。空腹には食を、渇きには水を求め、不安の思いにさいなまれる。喜び、悲しみ、怒り、恐れを日々体験し、その表情を見る事が出来る。二つの欲望が抗し、また極限状況ではストレスを引き起こす。

この作品は、このようなモチベーションと情動との現象と規制について検討し、臨床的にその治療について考え、すすんで、低次の欲望や感情から、人間の持つ高次の宗教的・芸術的情感や精神的意欲についても示唆を与えるものである。

〈監修〉

同志社大学教授 松山義則

3 リラクセーション

〈指導〉 東京心理相談センター 生月 誠
筑波大学 原野広太郎

● カラー

心と身体とは密接に関係していて、心の悩みや不安は、身体的な緊張を引き起こす。逆に身体的なリラクセーションは心の悩みや不安を和らげる。

この作品では、これらの事がどのようなプロセスを経て、どのような課程で生まれるかを、3部に分けて追って見る。第1部では、意識しない身体の緊張を和らげる弛緩リハーサルの実際を描く。第2部では、意のままにならなくなった身体反応を元の状態に戻すセルフコントロールの練習を紹介する。第3部では、一般的に強い不安やノイローゼの場合、強い心理的不安定症を伴う。それらの症状を軽減するには、リラクセーションの状態へ急激に移行させる方法がとられるが、それには、どのような方法があるのかをさぐるものである。

〈監修〉

筑波大学教授 原野広太郎

4 子どもの心と身体 —水中での運動遊び—

〈指導〉 東京大学 武藤芳昭
横須賀スイミングクラブ 荒井正人

● カラー

水の中での運動は、子どもや成人の体力の維持・向上、健康増進のための運動としてすぐれた特徴をもっている。その特徴のひとつとして、全身をバランス良く使うということがあげられる。

この作品では、水の中で楽しく運動することにポイントをおき、幼児期から児童期に至るまでの心と身体の発達過程を描くものである。①幼児の身体発達（スキヤモンの発育曲線）②昔と今の環境の違いと親子の携わり方、③幼児期、児童期に受ける運動能力の重要性、④水中での運動あそびとスポーツ、これらの問題点を、教職にある先生方と共に考察していく。

〈監修〉

東京大学教育学部教授 宮下充正